

あきた
太白神
フォトス
ポットガイド



白神山の麓に行くと、
映えスポットの数々を
紹介します。

スポット紹介

この冊子は、秋田県山本地域振興局が過去に開催したフォトコンテストの応募作品を用いて、白神山地の麓・能代山本地域の写真を撮りたくなるスポットを紹介することを目的とするものです。

掲載した写真の無断使用を禁じます。

チゴキ埼灯台

@samasa_photography





@7mi1mi

チゴキ埼灯台



チゴキ埼灯台

@minokuma2898



五能線・小入川橋梁

@yuzuone001

五能線・小入川橋梁

@akita404840





@akita404840

五能線・小入川橋梁

御所の台オートキャンプ場

@akitaphoto_ryoodai



御所の台ふれあいパーク





真瀬溪谷

雄島

@nsr.birds





鹿の浦展望所



@vilja.mina_ko

みこしの滝浴び

みこしの滝浴び

@happo_ponpoko





日本海と白神山地

@akita_photographer

日本海と白神山地

@jiwajiwajiii





はまなす展望台



五能線・米代川橋梁

@hanamekoume7



五能線・米代川橋梁

@hanamekoume7



五能線・米代川橋梁

@akita_photographer

能代の花火

@tetsutype



能代の花火



七夕役代能

@akita_photographer



能代役七夕





柳町西
Yanagimachinishi

50

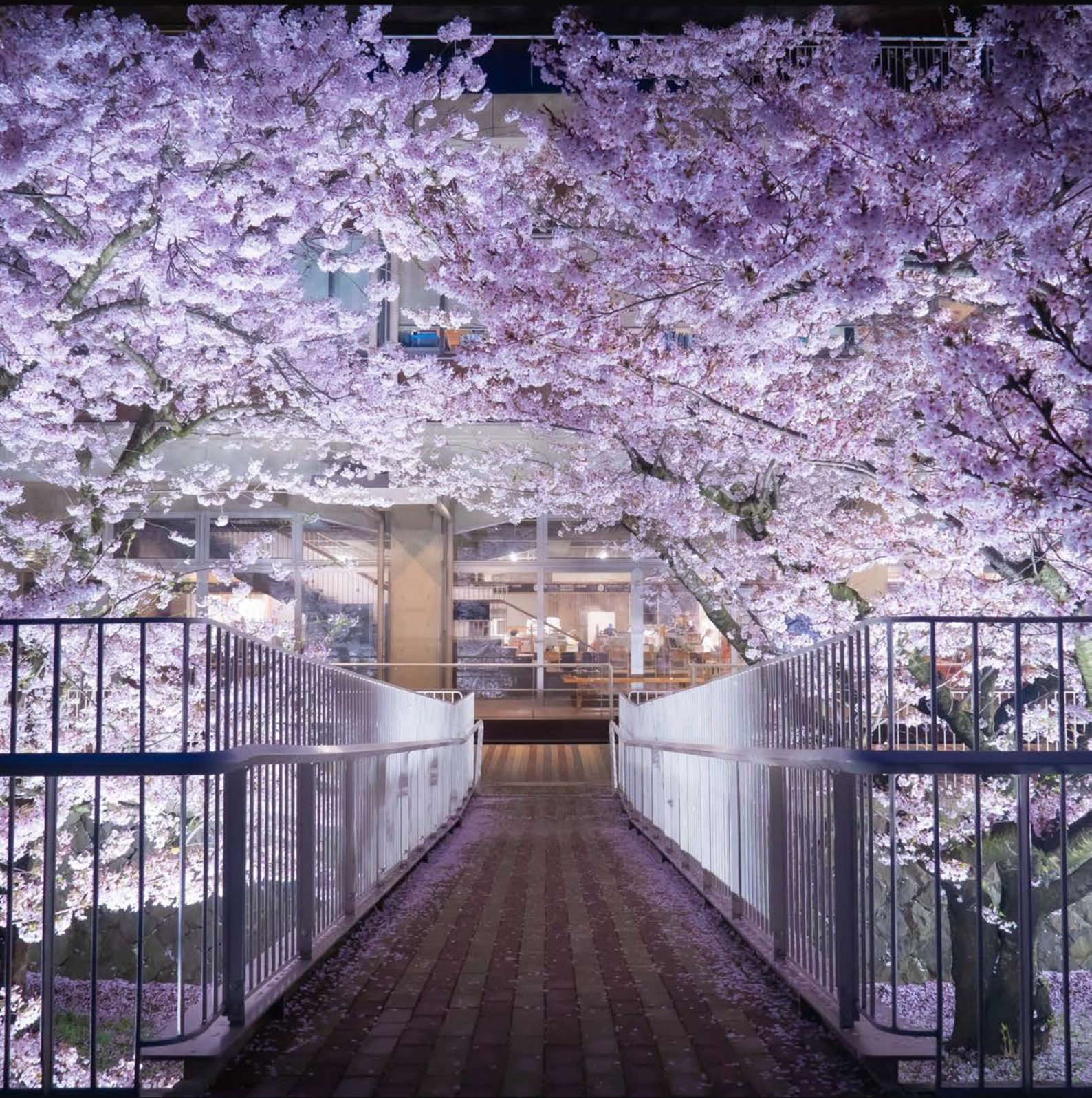


@kk8photo

天空の不夜城

さくら庭

@kumao43





さくら庭



@akita_photographer

旧料亭金勇

旧料亭金勇

@ponta_gachan



のしろまち灯り

@audi.gogo5





のしろまち灯り

@akita_photographer

嫁見まつり

@mayu.sam22



嫁見まつり





御神幸祭

米代川赤沼公園



小友沼

@audi.gogo5





小友沼

@nsr.birds

小友沼

@nsr.birds





多宝院



サンドクラフトinみたね



森岳歌舞伎



惣三郎沼公園



秋田犬と散歩

山住房



山住房



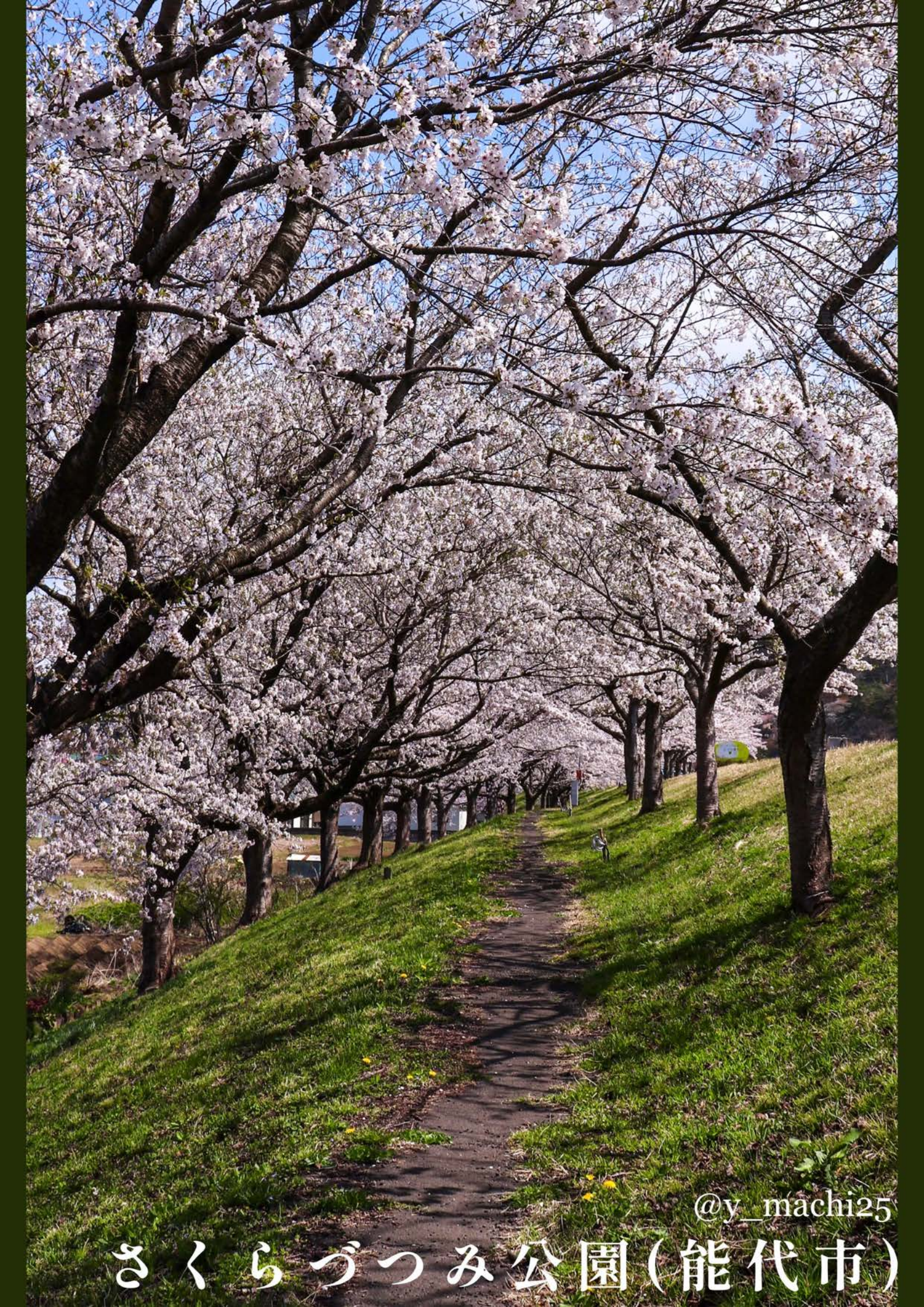
秋田県無形民俗文化財

富根報徳番楽



秋田県無形民俗文化財
富根報徳番

富根報徳番楽



@y_machi25

さくらづつみ公園(能代市)



@ito_masa_insta

きみまち阪公園

きみまち阪公園

@makosan1109



きみまち阪公園

@mayu.sam22





@takayoshi_ohnuki

きみまち阪公園



恋文ポスト

恋文コンテスト発祥のこの地から大切な人へ。

このポストに投函すると、

左上のハート型風景印が消印されます。

※風景印の消印はイメージです。実際に消印される場合があります。
※風景印のサイズは、実際のサイズと異なる場合があります。



きみまち阪公園

@toshi.0906



應文神社
夫婦杉

@y_machi25

きみまち阪公園



@ymysony

きみまち阪公園



@ymysony

きみまち阪公園



@yokoyama.toshiki.photo

道の駅ふたつ

銀杏山神社

@vilja.mina_ko



高岩神社裸参り



高岩神社裸参り



藤琴豊作踊り



藤琴豊作踊り



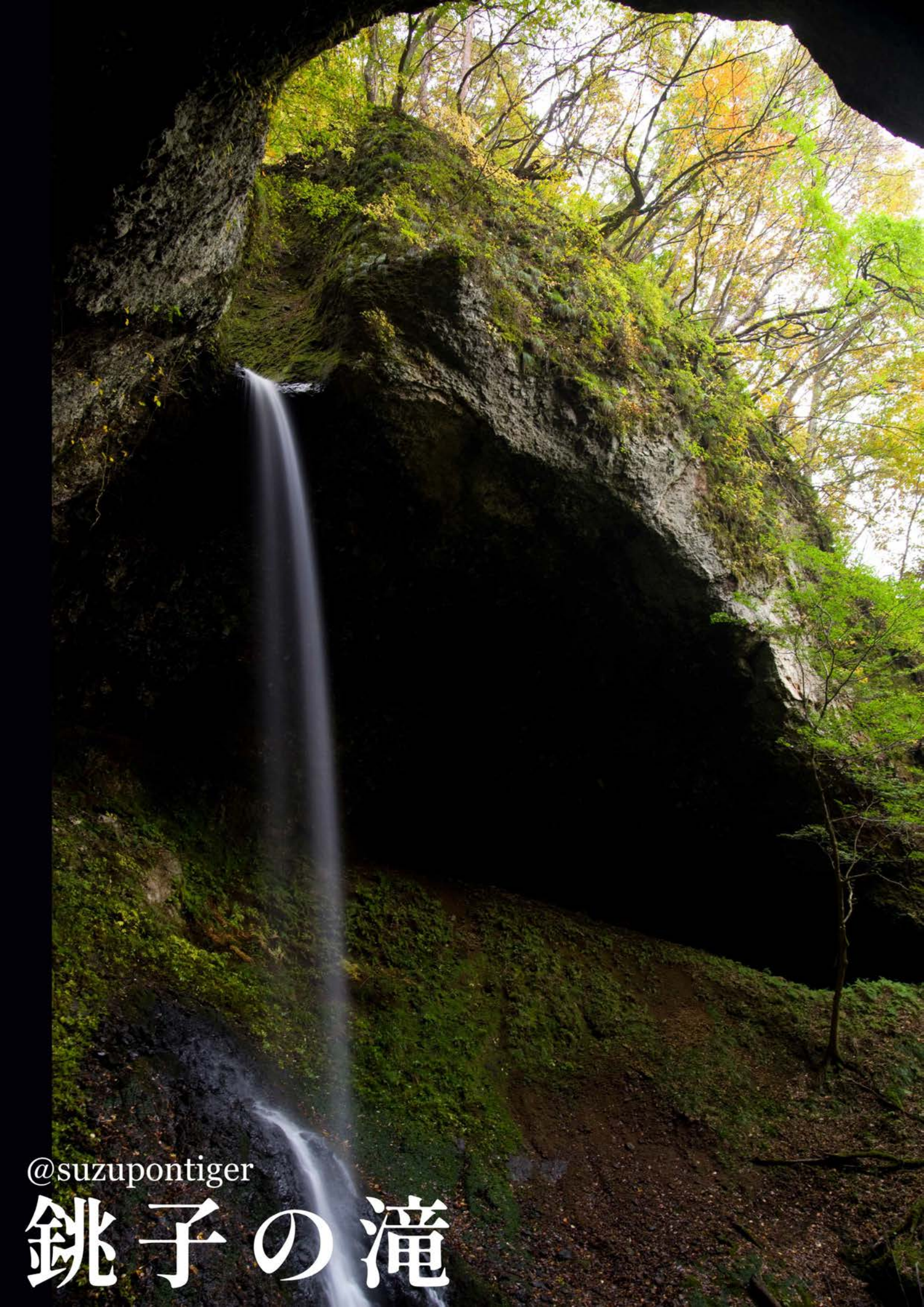


桜づつみ公園（藤里町）



銚子の滝

@nao.fjst



@suzupontiger

銚子の滝



銚子の滝
@akihirootomo

銚子の滝

@vilja.mina_ko



がろう
峨 瓏 の 滝
@toshi.0906





がろう
峨瓏の滝

@y_machi25



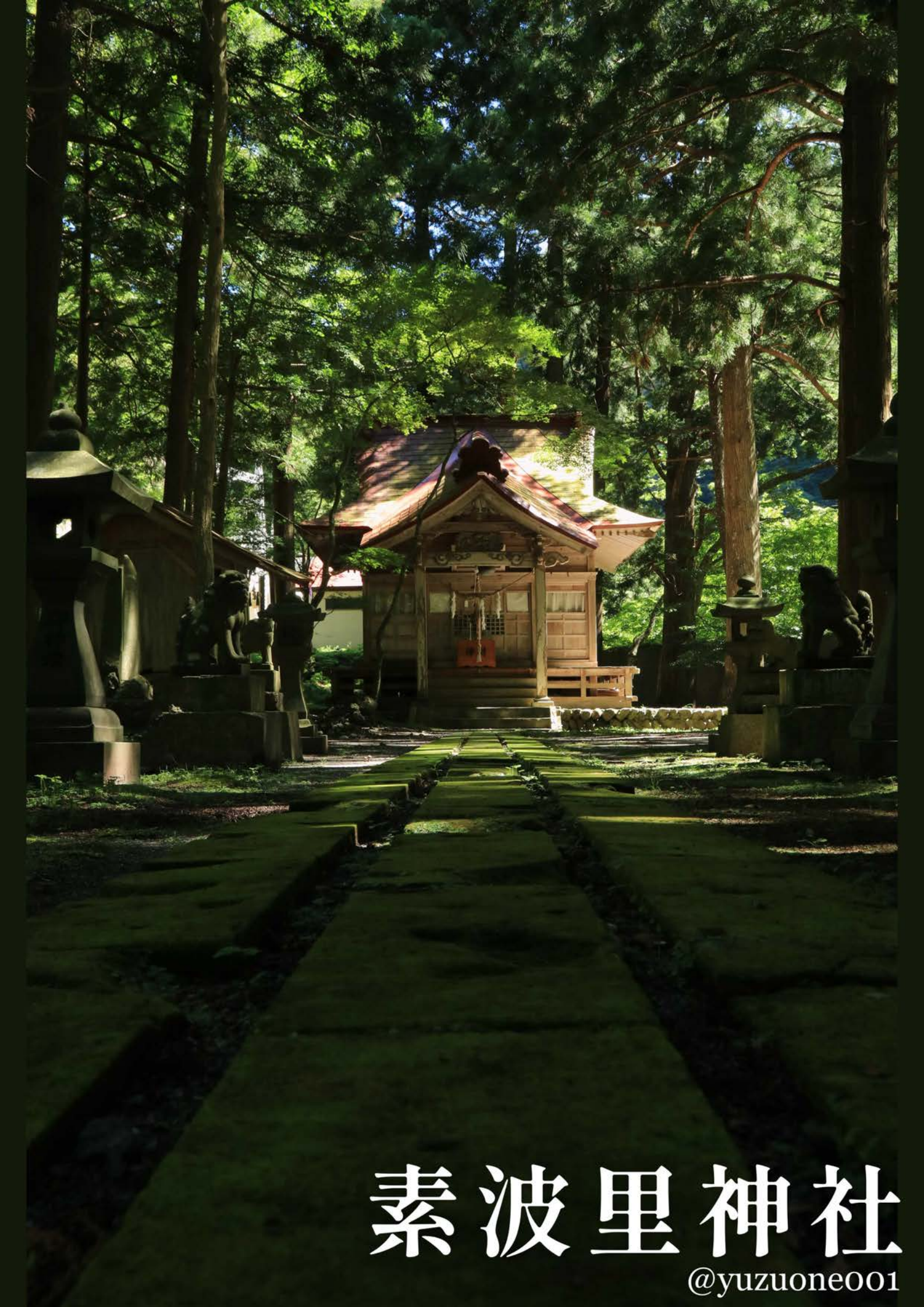
がろう
峨 瓏 の 滝

@gumis_notebook

横倉の棚田

@zaft1966





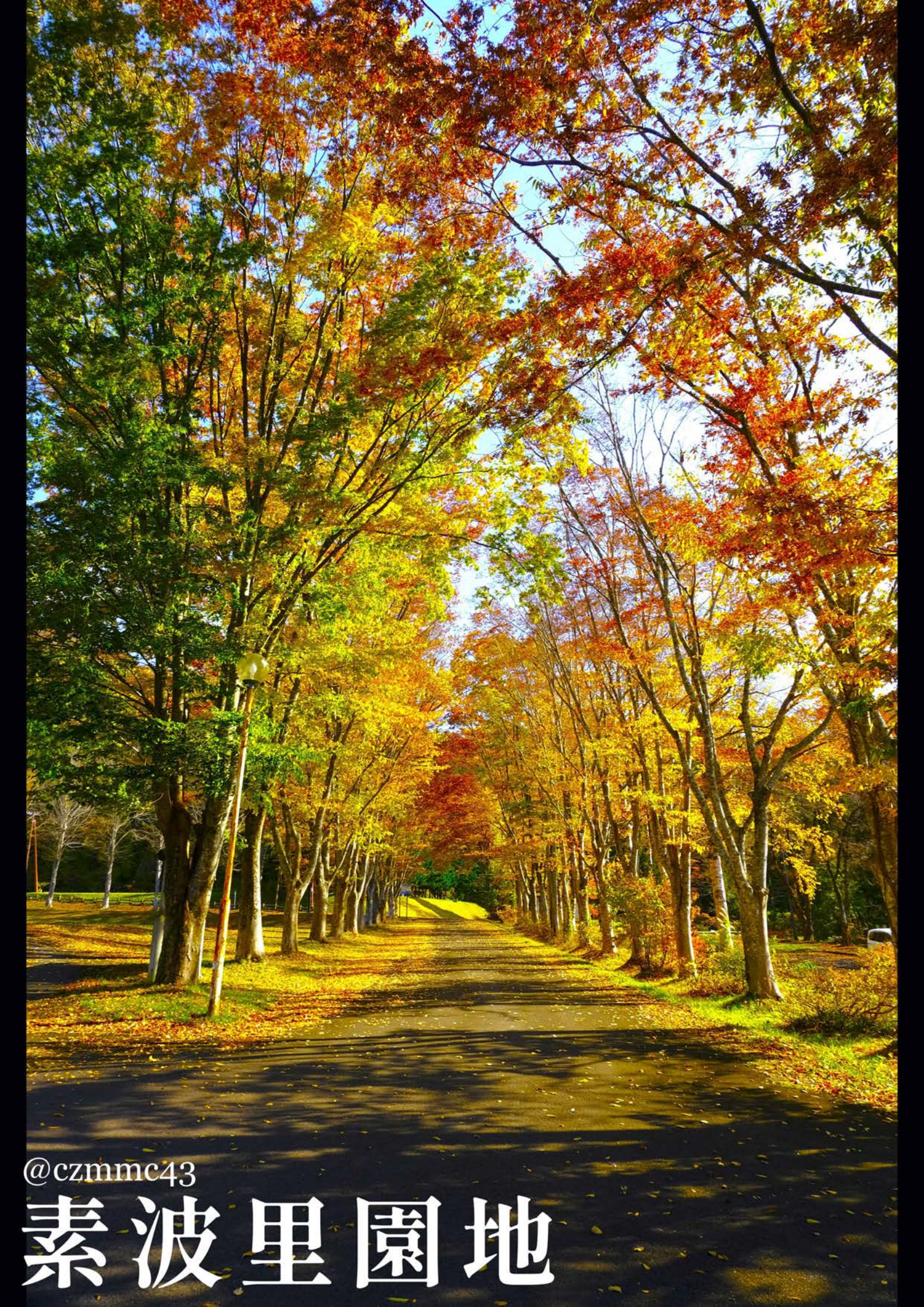
素波里神社

@yuzuone001



素波里ダム

@nao.fjst



@czmmc43

素波里園地



太良峡



太良峡



岳岱自然觀察教育林



岳岱自然觀察教育林

藤里駒ヶ岳

@jiwajiwajiii





藤里駒ヶ岳

@yotchan310

藤里駒ヶ岳





藤里駒ヶ岳



@taka03.keiren

釣瓶落峠



釣瓶落峠

小岳

@jiwajiwajiii





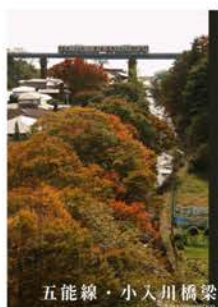
小岳

スポットの解説



チゴキ埼灯台

高台の上から日本海を見下ろせるスポット。南側を見ると岩館の街並みが一望できる。春は水仙の花畑が灯台の周りを包む。



五能線・小入川橋梁

五能線撮影スポット。撮影地点は小入川橋で検索。すぐそばに駐車場がある。

小入川に沿って開けた地形の間から、日本海を背景として橋梁の上を走るリゾートしらかみを撮影できる。



御所の台オートキャンプ場

日帰り入浴可能な温泉ホテル・ハタハタ館が隣接しているキャンプ場。近く(徒歩約12分)にはサウナのあるカフェサウナumikkoがある。隣接する産直のさるなし(ベビーキウイ)ソフトはほどよい酸味と甘さでおいしい。



御所の台ふれあいパーク

白神山地の麓の桜スポットの一つ。
あきた白神駅に隣接しており、御所の台オートキャンプ場、ハタハタ館からも徒歩で来れる。春はライトアップされる。



真瀬溪谷

googlemapでは三十釜(真瀬溪谷)で検索。
写真の紅葉の時期以外では、早春の時期にカタクリやキクザキイチゲの花を見ることが可能。



雄島

googlemapでは中浜海岸で検索。

中浜海岸の海上すぐ近くに浮かんでいる島。8月には花火大会&音楽フェスを組み合わせた八峰花火フェスが開催される。近くのダイニング福八ではお魚ランチが食べられる。



鹿の浦展望所

三種町の釜谷浜と並んで特におススメできる日本海展望スポット。駐車場あり。飲食店も併設。



みこしの滝浴び

八峰町の白瀑神社の例大祭で行なわれる、全国的にも珍しい行事。

白瀑神社では、商用利用目的での写真撮影・映像撮影・描画や、書籍・雑誌・ホームページ等への掲載などについて、神社の許可が必要であるため、神社公式ページを必ず参照。



日本海と白神山地

撮影場所は能代海水浴場で検索。駐車場あり。

日本海と白神山地を一緒に撮影可能。

反対側は能代港と男鹿半島を一望できる。



はまなす展望台

能代港を高所から一望可能。北側は白神山地、南側は能代火力発電所とその奥に男鹿半島が見える。

展望台は100段の階段を登らないと行けない点に注意。



五能線・米代川橋梁

五能線撮影スポットの一つ。

米代川河口を背景に、橋梁の上を走るリゾートしらかみを撮影する形になる。



能代の花火

秋田県を代表する花火大会の一つ。スターマインのプログラムを中心に約15,000発の花火が打ち上げられる。

カメラマン席が用意されており、そちらのチケットを購入するのがベスト。公式のフォトコンテストも開催。



能代役七夕

能代市の七夕ウィークに行なわれる祭りの一つ。

毎年8/6と7の2日間に開催される。1日目は町ごとにある左の燈籠が能代の街中を練り歩き、2日目は能代港下浜ふ頭で燈籠の上部のシャチに火をくべて港へ流す。お囃子の音が心地よく、写真だけでなく動画撮影にも適している。



天空の不夜城

能代市の七夕ウィークに行なわれる祭りの一つ。

8月初めに開催される（2025年は8/2,3の予定）。イベントに先駆けて、能代市のけやき公園でのライトアップも7月末頃に行なわれるので、イベント開催当日に行けない方は能代観光協会のホームページを要チェック。



さくら庭

白神山地の麓の桜スポットの一つ。

能代市役所南側にある、デッキが併設された桜並木。

夜間にはライトアップも行なわれる。実施時期については能代観光協会のホームページ等を要チェック。



旧料亭金勇

木材産業で栄えた能代市で、各種の宴会や接待、婚礼に使用された建物。貴重な天然秋田杉を豪勢に使った造りは往時の能代の街の活気を伝えている。

四季ごとに変わる庭園の景色と建物を一緒に撮影するのが定番の構図。公式のフォトコンテストも開催されている。



のしろまち灯り

2024年に25周年を迎えた、能代の街の冬の定番イベント。上町で毎年テーマを変えて展示されるおけたる灯り（左写真）や、能代駅前のイルミネーションなど、様々な灯りが飾られる。能代駅から歩いて各会場を回り、屋台村なども楽しむのが良いと思われる。2024年は初めて公式のフォトコンテストが開催された。



嫁見まつり

能代市の日吉神社で5月頃に開催される伝統的なお祭り。2025年は5/17（土）に開催される。

着飾った花嫁・花婿の行列が神社の参道を歩いて行く「花嫁行列」が祭りのハイライト。会場では併せて縁日も開催される。公式のフォトコンテストが開催されている。



御神幸祭

能代市の日吉神社の例祭として毎年7/26、27に開催されるお祭り。江戸時代からの歴史を伝える壮麗な山車と御輿が見どころ。写真は祭りの終わりに神輿を掲げて神社の周りを3回回るシーンを撮影したもの。



米代川赤沼公園

白神山地の麓の桜スポットの一つ。鉄塔と電線が被るが、米代川に沿ってずらっと並ぶ桜並木の奥にまだ雪を湛えた白神山地を一枚に収めることが可能。春の晴れた日にお散歩するだけでも良い気分になれる。



小友沼

渡り鳥が飛来するスポットとして有名。10～11月と3月頃が見頃。車のヘッドライトや音に鳥が驚くので、日暮れから明け方までは、沼のほとりに侵入してはいけない。他にも、来訪者に対して守って欲しいことが能代市のホームページに掲載されているので、来訪の前にご一読のこと。（「小友沼来訪者のみなさまへ」などで検索）



多宝院

白神山地の麓の桜スポットの一つ。
能代市檜山地区にある古刹。風格のある山門と枝垂れ桜で有名。「檜山歴史ガイド」に事前に予約することで、寺院内部の見学も可能。詳細は能代市のホームページを参照。



サンドクラフトinみたね

毎年7月下旬から8月いっぱい開催される、三種町の釜谷浜海水浴場での砂像展示イベント。夜にはライトアップも行なわれる。アーティストの製作する砂像は必見。2024年には公式のフォトコンテストが開催されている。



森岳歌舞伎

毎年9月に森岳八幡神社の農村歌舞伎会館（三種町森岳岩瀬32）で、地域住民によって公演される歌舞伎。260年以上の歴史があると言われている。2025年は9月14日（日）開催予定。詳細は公式ホームページ(<https://moritake-kabuki.com/>)を参照のこと。



惣三郎沼公園

白神山地の麓の桜スポットの一つ。
桜の時期になると出没するピンクのドアやMITANEのロゴオブジェと一緒に記念撮影可能。2025年は4/19に桜まつりが開催され、食べながら桜見をすることが可能。ライトアップは4/8～5/6実施予定。



秋田犬と散歩

秋田犬と散歩

三種町の（一社）ヘルスケアデザイン秋田が提供する、白神山地の麓の人気体験モノ。人懐っこい秋田犬のマサさんと一緒に歩くと心身ともに癒される。写真は冬だが四季問わず体験可能。予約は同社団法人のホームページから。



房住山

房住山

修験道の盛んな山であったと言われており、登山道中にある多くの姿の違う石仏を巡礼しながら歩くのが楽しい。シラネアオイやサンカヨウの咲く花の山としても知られる。低山だがアップダウンがあり、足元など登山の装備はしっかりすること。道中の台倉の坂は斜度のきつい急坂で迂回路を選ぶのが無難。

なお、2025/3現在、山頂の展望台が老朽化により立入禁止となっている。詳細は三種町ホームページを参照。



富根報徳番楽

富根報徳番楽

15を超える演目を有し、踊り手のレベルも高く見応えのある郷土芸能。7/23,24の富根愛宕神社祭典、9月中旬の作番楽で毎年披露されている。2024年は秋田市のミルハスでも舞を披露した。

facebookで定期的に活動の様子を掲載しており、舞の体験なども予約をすれば可能。



さくらづみ公園(能代市)

桜づつみ公園（能代市）

白神山地の麓の桜スポットの一つ。

能代市二ツ井町の米代川堤防にある公園で、米代川に沿って桜並木が並んでいる。写真の通り、桜の下をくぐって歩くことのできるスポット。

道の駅ふたつから歩いて約19分と歩いて行ける距離のため、きみまち阪と併せて「花見さんぽ」をするのもオススメ。



きみまち阪公園

きみまち阪公園

白神山地の麓の桜スポット・紅葉スポットの一つ。

四季を通じて見どころがあり、道の駅ふたつとも近い（徒歩でも約13分程度）ので、自然に触れつつランチをしたいといった人にはおすすめの場所。



道の駅ふたつ

秋田県内でもトップクラスの利用者数を誇る人気の道の駅。館内には様々な地元の特産品を初めとしたお土産が揃っている。レストランの鶴形牛霜降りローストビーフ丼は必食。2～3月には、恋文のまちニツ井にちなんで、ハート形の飾りが飾られる。レンタサイクルもありニツ井町観光の起点となっている。



銀杏山神社

白神山地の麓の紅葉スポットの1つ。神社本殿に向かって左を向くと写真の巨大な銀杏の木に続く階段が。その銀杏の奥には2本の銀杏の木が仲良くつながって並んでいる。11月中旬から下旬が見頃で、時期が合うと写真のような黄金の絨毯ができる。



高岩神社裸参り

能代市ニツ井町の高岩神社のお祭り。例年旧暦1/15に開催。旧暦カレンダーを参照のこと。2025年2月の実施時は、外国の方も参加して開催された。高岩神社は高岩山山頂にあり、30分ほど徒歩で雪道を登る必要がある。体力にある程度自身のある方向けの祭りではあるが、威勢のいい掛け声とともに水を被り山頂に駆けあがって行く姿は非常に写真映える。



藤琴豊作踊り

藤里町藤琴地区（役場周辺）を中心に9/7、8に演じられる郷土芸能。獅子舞、棒使い、奴踊り、万才、駒踊りなどの演目があるが、中でも騎馬武者姿をした数多くの演者が激しく腕足を上げ下げし、行き違いながら踊る駒踊りが特に見どころ。9/7の公演は夜に行なわれるので、粕毛地区の農家民宿などに泊まると徒歩20分程度で会場に行ける。農家民宿で出る郷土料理はおススメ。



桜づつみ公園（藤里町）

白神山地の麓の桜スポットの一つ。藤里町観光の拠点・白神山地森のえきの川を挟んで向かい側にある。観光協会が主導して地元住民と一緒に桜並木を再生する取組が行われており、地域外の人でも参加できる（森のえきのInstagramを参照）。ムクドリなどの鳥が桜をついばみにやってくる。



銚子の滝

藤里町中央部を走る県道から車で2分程の駐車場から、徒歩5分程度でアクセスできる、行きやすいのに神秘的な雰囲気味わえる滝。岩盤のドームから流れ落ちる一筋の滝は、冬になると落ちた先に青い氷の山「アイスブルーマウンテン」を作り出す。

帰りに湯の沢温泉で温泉に入るか、森のえきに寄ってソフトクリームを食べるとよい。



峨籠（がろう）の滝

白神山地の麓の紅葉スポットの一つ。

こちらは上記の県道から見える位置にある、行きやすいのに神秘的な雰囲気を味わえる滝その2。秋だけでなく、滝が緑に包まれる夏や、ライトアップ&雪灯籠が設置される冬も見どころ。



横倉の棚田

白神山水の館の脇にある細道を通って行くとある棚田。

車が行違うことが難しい場所にあり、耕作の邪魔にならないよう気をつける必要がある。



素波里（すばり）神社

「すばり」とは、古い言葉で「すぼまっている」状態を指す。素波里神社や素波里ダム、素波里園地もそのようなすぼまった深い谷の地形にある。

素波里神社は素波里ダムの下にある古びた鳥居が印象的な神社。



素波里ダム

白神山地の麓の紅葉スポットの一つ。

写真は素波里ダムから素波里神社方向を眺めた様子。

反対側にはダム湖が広がる。



素波里園地

キャンプ場や大型遊具、バッテリーカー、グラウンドゴルフ場などが揃っている、親子で楽しめるダム湖畔のスポット。レストハウスの裏側辺りからは、湖の向こうに藤里駒ヶ岳が聳える風景を撮影可能。

秋の紅葉の時期（10月下旬頃が見頃）もおススメ。

太良峡

白神山地の紅葉スポットの一つ。

写真は岳岱自然観察教育林に向かう途中にかかっている赤い橋「太良橋」から撮影した風景。橋の上は車が行違えない狭さ。橋手前があるスペースに車を避けて置くなど、間違っても道路上に車を止めて通行の邪魔をしてはならない。

なお、太良峡、岳岱自然観察教育林、藤里駒ヶ岳、釣瓶落峠は、アクセス道工事のため、2025年は10/1～11月上旬のみ開通予定。2026年以降は通常通り5月下旬頃～11月上旬頃に戻る見込み。



岳岱自然観察教育林

白神山地の紅葉スポットの一つ。見頃は10月中旬～下旬だが、11月上旬の落葉の進んだ褐色の風景も風情を感じる。

四季に応じて様々な色、様相を呈する、いつ来ても飽きないスポット。秋田白神ガイド協会などに所属するガイドの話聞きながら行くと色々見どころを教えてくれる。写真は令和4年に倒れた400年ブナ。龍の口のようにも見え、倒れてもなお力強さを感じる。本編2枚目の写真に写っているもののけブナは、普通に探しても見つからないと思うので、ぜひガイドと一緒に行って場所を教えて貰ってほしい。



藤里駒ヶ岳

白神山地を構成する山の一つで、白神山地の紅葉スポットの一つ。

登山道入り口から15分程度の田苗代湿原では、ミズバショウ（5月頃）やニッコウキスゲ（7月上旬頃）が見られるほか、10月中旬～下旬の燃えるような紅葉の風景も必見。訪問の際はしっかりと登山の準備をすること。

釣瓶落峠

白神山地の紅葉スポットの一つ。切り立った山の斜面が落葉樹の燃えるような赤色・黄色に染まり、それを切り裂くように針葉樹の緑が混じり独特の風景となる。

自転車で行くのは熟達した上級者向け。特に下りは斜面でスピードが出る上、カーブが多い、落葉でタイヤが滑るなど危険な要素が多く、電波も通じないため、推奨はできない。

なお、地図上は釣瓶落峠を超えて青森県に行けるように見えるが、2022年の豪雨で道路が崩壊しており、現在通行不能となっている。





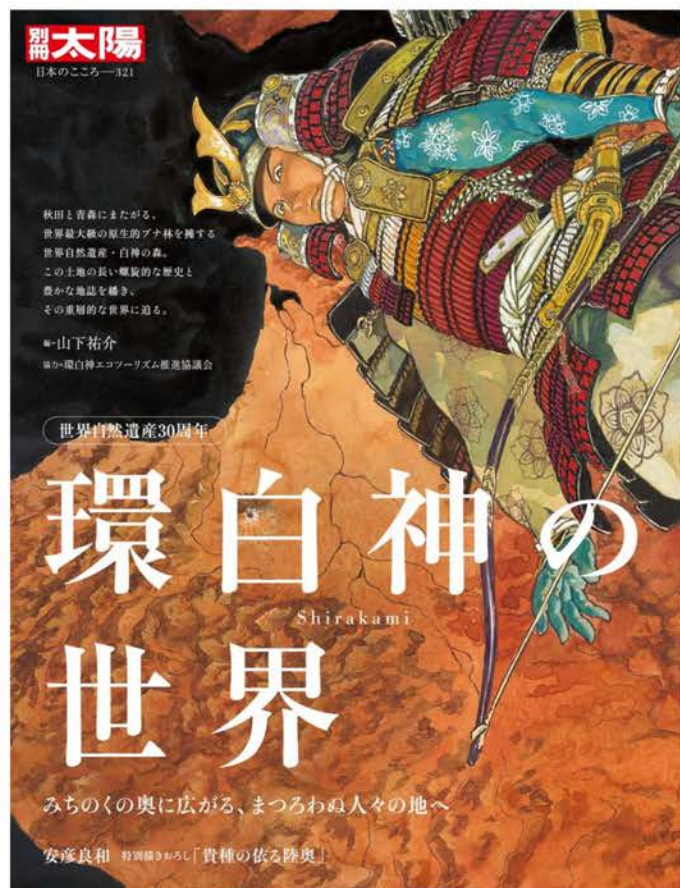
小岳

山頂付近が世界遺産登録地域に入っており、白神山地の中でも特に頂上からの眺めが良い山。人工物のない、ただ一面に広がる緑の風景を見ると、人生観が変わるような感覚になる。登山口までの道が非常に悪路で、ジムニーのような車でないとタイヤがパンクする危険性が高い。秋田白神ガイド協会などのガイドを依頼することが望ましい。

フォトスポットの場所を示した
地図は下の二次元コードから。



白神山地の麓をさらに楽しむために —「環白神の世界」—



「環白神の世界」の表紙。イラストは「機動戦士ガンダム」のキャラクターデザインなどで知られる安彦良和氏の描きおろし。

白神山地は、これまで生態系の多様さ、自然の豊かさといった、自然の面に着目した文脈で語られることが多く、白神山地の麓の地域に住んでいた人たちが作り出した文化とはどんなものであったか？ということについては、体系的な本がありませんでした。

2025年3月27日に平凡社から発売された「環白神の世界」は、その文化に注目し、様々なトピックスに光を当てている意欲作です。環白神エコツーリズム推進協議会が2025年8月から実施を予定している「白神検定」の教科書にもなっています。

また、白神山地の麓に住んでいる方々にとっては、自分たちのルーツがどこにあるか確認したり、自分たちの地域の良さを再発見するきっかけになる本でもあります。ぜひご一読いただき、白神検定も受けていただければ嬉しいです。

平凡社ホームページの書籍紹介ページは右の二次元コードから。





一志右
白神

